

Accountability for Change

Mission

Accountability for Changeは、
専門性を活かした社会貢献活動を通じて、
ソーシャルセクターの健全な発展に寄与するとともに、
次世代の会計プロフェッショナルの育成を目指します。



Engage in the Public Interest

社会に貢献する公認会計士

Why we exist

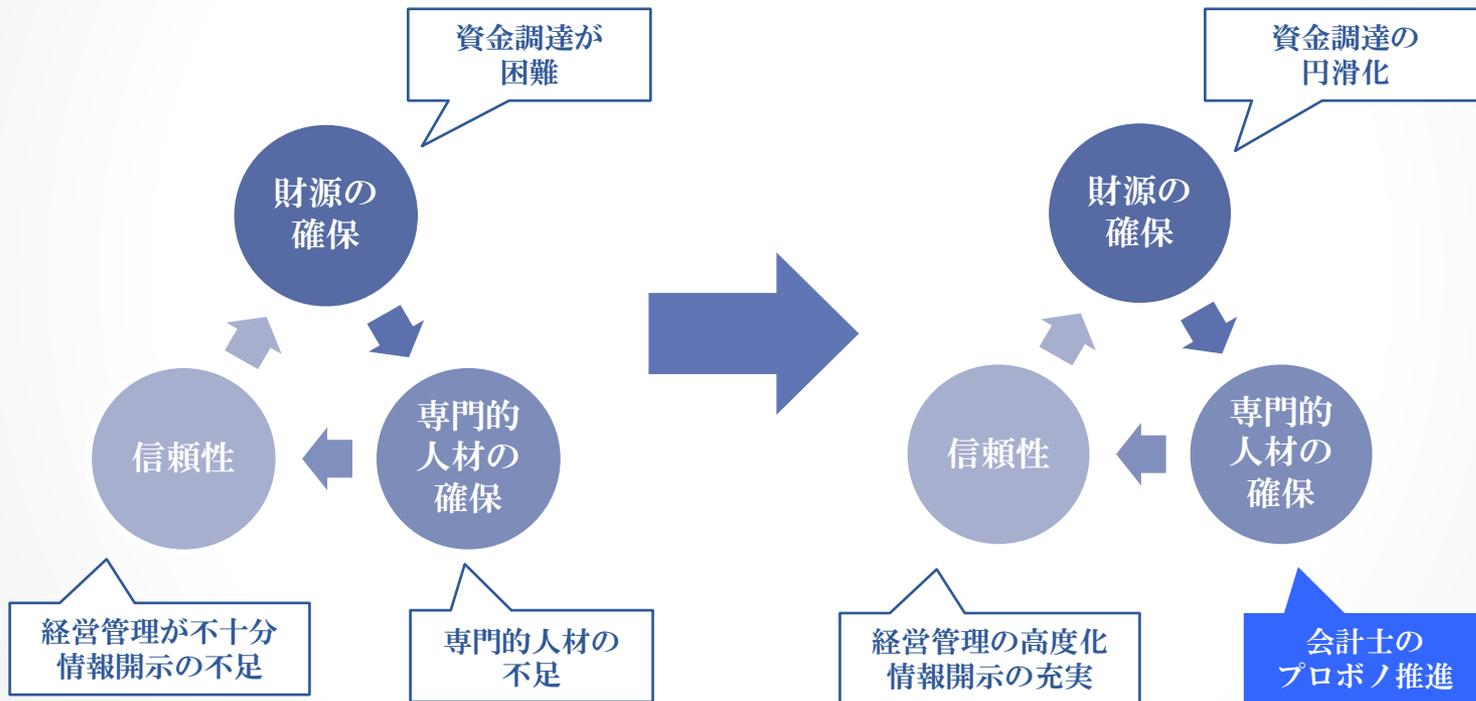
社会課題が多様化・複雑化していく中、人口構成等の変化、政府の財政健全化への要請等から、近年、NPOの役割期待が高まってきています。

一方、我が国では財源面での脆弱性、硬直的な労働市場等に起因する人材確保の難しさなどの課題があり、経営管理や情報開示も不十分となっており、NPOに対する社会的信頼性も高くない状況にあります。

Accountability for Changeは、会計プロフェッショナルとして、専門性を活かしてNPOの抱える課題を解決し、NPOの社会的信頼性を高める役割を果たしていきます。



Theory of Problem / Theory of Change



Change we make

プロボノを通じてソーシャルセクターの健全な発展に寄与するとともに、次世代の会計プロフェッショナルを育成し、ビジネスセクターに還元していくことで、より良い社会の実現を目指します。

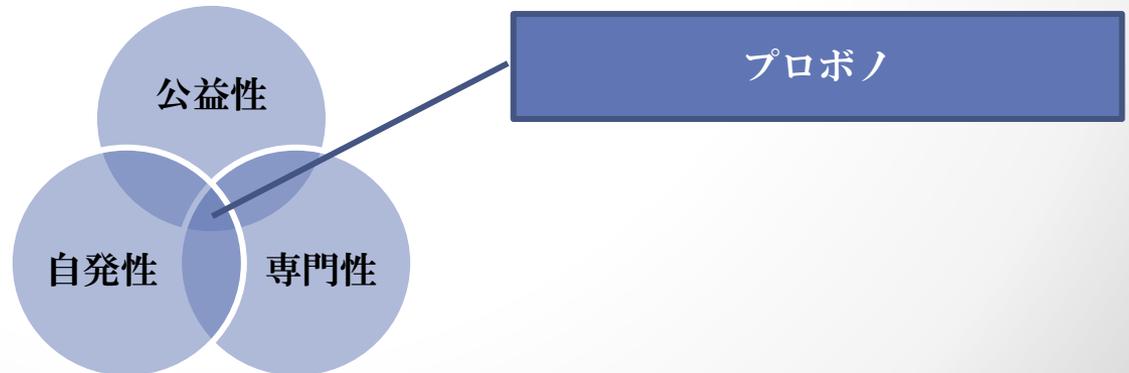


What is “Probono” ?

- プロボノとは、専門性を活かした社会貢献活動

多様化する社会貢献の形

	寄附	ボランティア	プロボノ
主体	誰でも	誰でも	専門家
提供するもの	お金	労力（時間）	専門スキル
得られるもの	満足感	やりがい、社会関係資本	やりがい、社会関係資本、 専門スキルの向上



What we do

- ① NPOの抱える課題を把握し、NPOとの連携を行います。
- ② プロボノのパフォーマンスを最大化させるため、事前に必要なナレッジ、スキル、マインドセットの研修を行います。
- ③ 継続的なナレッジの共有を通じて、AFCにベストプラクティスを蓄積し、対外的な発信を行います。
- ④ 会計士プロボノのネットワーキングのみならず、税理士や弁護士プロボノなどとのネットワークを構築し、NPO支援のプラットフォームを形成していきます。



- NPOの課題把握
- NPO連携

- 事前研修

- ナレッジの共有
- ベストプラクティスの蓄積
- 対外的な発信

- ネットワーキング
- NPO支援のプラットフォーム形成

Alignment

- 独自の選定基準に基づきNPOの選定を行います。
評価基準には、NPOの社会性、事業性、革新性のみならずNPO側の受け入れ体制の十分性も含まれます。
- 支援を必要とするNPOに対するヒアリングを行い、NPOの抱える課題を洗い出します。
- NPOとプロボノとのマッチングを行います。
- NPOとプロボノとの間で、期待される成果、プロボノ期間、頻度などについて合意を形成します。

Training

- プロボノのパフォーマンスを最大化させるため、事前に研修を行います。
- NPO法人制度、NPO法人会計基準、認定NPO制度など、プロボノを行うにあたり、最低限知っておくべき内容について実用的で高品質な研修を提供します。
- 研修にはCPE（継続的専門研修制度）や実務補習所（会計教育研修機構）の単位を付与します。

Knowledge sharing

- プロボノで定期的なナレッジシェアリングを行います。
- ベストプラクティスを共有し、ナレッジの蓄積を行います。
- 蓄積されたナレッジは研修の改善に活用するとともに、対外的な発信を行っていきます。

Networking

- プロボノのネットワーキングを促進します。
- 税理士や弁護士など、他のプロフェッショナルのプロボノとのネットワーキングも構築していきます。
- NPO支援をワンストップで行うことができるよう、プラットフォーム形成を行います。

Accountability for Change

